

公共事業事前評価調査 (公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	. - 2.(1)
対象事業	治水事業
主要目標	洪水被害の防止

優先順位付け の考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価					事業間 ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		公共開 与、事 業執行 主体の 妥当性	経済効 率性	事業 実施、 規模 の妥当 性	整備 手法 の有 効性	環境 負荷 への 配慮	事業 計画 の熟 度	貢献度ランクの評価			副次効果ランクの評価					
								貢献度 ランク	過去の災害実績、事 業の緊急度、災害発 生の危険度 (評点法) 点	想定氾濫区域1ha当 たり被害軽減額 百万円/ha	副次効果 ランク	評点				
過去の災害実 績、事業の緊急 度、災害発生の 危険度が高く、想 定氾濫区域1ha当 たり被害軽減額 が大きい地区を優 先する。	平等川						a	21	50	1	2	S	-		実施	
	渋川						a	21	32	2	0		-		実施	
							基準値	21	6	基準値	1.0					

副次効果評価調査

主要目標番号		. - 2.(1)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所 で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標		洪水被害の防止					
評価対象地区・箇所名		平等川					
主要目標項目	- 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	- 1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上				
		- 2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
	(7) 道路景観の向上						
	- 3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
		(2) 農業生産力の向上					
		(3) 農業用排水能力の向上					
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)					
		(5) 森林整備の効率化					
	- 暮らしと経済活動の 安全性確保	- 1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保				
			(2) 災害に強い道路の確保				
			(3) 都市災害防止				
			(4) 交差点の安全性・円滑性の向上				
- 2. 洪水・土砂被害の防止		(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
- 3. 鳥獣被害の防止		(1) 鳥獣被害の軽減					
副次効果項目		交通利便性	交通ターミナル機能の強化				
	アクセス機能の維持						
	主要渋滞ポイントの解消						
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供					
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
		地域の文化・学習等活動の支援					
	各種情報の円滑な提供						
	自然環境	水源涵養機能の向上					
		生態系空間の再生					
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保					
		緊急時の避難・救助機能の確保			氾濫想定区域内に市指定避難場所:春日居西保育所	1	
		被災時の被害波及の防止			氾濫想定区域内に緊急輸送道路:国道140号(第1次緊急輸送道路)	1	
		既存施設の崩壊危険性の排除					
走行安全性の確保							
生産性	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
	新たな公共用地の創出						
	農地の保全						
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
他事業との一体施工							
重要プロジェクトとしての位置づけ							
						副次効果 評価合計	2

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合は1点とする。

副次効果評価調査書

主要目標番号		. - 2 . (1)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所で想定される副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標		洪水被害の防止						
評価対象地区・箇所名		波川						
主要目標項目	・ 県民生活の豊かさと経済の発展を支える基盤充実	- 1 . 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上					
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上					
			(3) 市街地内の交通の円滑化					
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上					
		- 2 . 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上					
			(2) 憩い空間の創出					
			(3) 生活排水処理機能の向上					
			(4) 良好な市街地空間の確保					
			(5) 適正な居住空間の確保					
			(6) 歩行者等の通行空間の確保					
			(7) 道路景観の向上					
		- 3 . 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
	(2) 農業生産力の向上							
	(3) 農業用排水能力の向上							
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)							
(5) 森林整備の効率化								
・ 暮らしと経済活動の安全性確保	- 1 . 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保						
		(2) 災害に強い道路の確保						
		(3) 都市災害防止						
		(4) 交差点の安全性・円滑性の向上						
	- 2 . 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止						
		(2) 土石流被害の防止						
		(3) 崖崩れ被害の防止						
		(4) 地滑り被害の防止						
	- 3 . 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減						
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化					
			アクセス機能の維持					
			主要渋滞ポイントの解消					
生活環境		水質の浄化						
		大気汚染の軽減						
		騒音・振動の軽減						
		良好な景観の創出						
		バリアフリー化の促進						
		ライフラインの強化						
		身近な緑地・交流の場の提供						
		飲雑用水の安定供給						
		糞尿の処理						
		地域の文化・学習等活動の支援						
各種情報の円滑な提供								
自然環境		水源涵養機能の向上						
	生態系空間の再生							
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保							
	緊急時の避難・救助機能の確保							
	被災時の被害波及の防止							
	既存施設の崩壊危険性の排除							
生産性	走行安全性の確保							
	林業生産力の向上							
	遊休農地の解消							
	新たな公共用地の創出							
	農地の保全							
その他	農林産物の販売促進							
	自然エネルギーの活用							
	リサイクルの推進							
	文化・歴史的資源等の保存・復元							
	他事業との一体施工							
	重要プロジェクトとしての位置づけ							
							副次効果 評価合計	0

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に “ ” が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に “ ” を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

河川改修事業		平等川	
		平成25年度(H16～H25)	
		数値	評点
過去の災害実績(過去10ヶ年の実績被害を対象にして)		評点	6
(1) 浸水頻度			
A 4回以上	3	1	1
B 3～2回	2		
C 2回未満	1		
(2) 最大浸水戸数			
A 100戸以上	3	0	1
B 99～30戸	2		
C 30戸未満	1		
(3) 床上浸水の浸水戸数(最大)			
A 20戸以上	3	0	1
B 19～5戸	2		
C 5戸未満	1		
(4) 最大農地浸水面積			
A 100ha以上	3	0	1
B 99～30ha	2		
C 30ha未満	1		
(5) 避難勧告の有無			
B あり	2		
(6) 重要な公共施設等(1)の有無			
A 3施設以上	3		1
B 2施設	2		
C 1施設以下	1		
(7) 災害弱者関連施設(2)の有無			
B あり	2		
(8) 重要公共網の遮断状況(一つの公共機関で過去最大のもの)			
A 12時間以上	3		1
B 6時間以上12時間未満	2		
C 6時間未満	1		
事業の緊急度(過去近3ヶ年実績被害を対象にして)評点	評点		4
(1) 被害実績の有無			
B あり	2		2
(2) 水防活動回数(累計)			
A 2回以上	3		2
B 1回	2		
災害発生の危険度評点	評点		11
(1) 改修目標流量に対する現況流下能力の割合			
A 0.2未満	3	流下能力 ÷ 目標流量	2
B 0.2～0.5未満	2		
C 0.5以上	1		
(2) 現況の治水安全度(生起確率の方で算出)			
A 5年未満	3	1/2未満	3
B 5～10年未満	2		
C 10年以上(補助河川・安全に流せる洪水規模の生起確率)	1		
A 30mm/h未満	3		3
B 30～50mm/h未満	2		
C 50mm/h以上(補助河川・安全に流せる降雨量)	1		
(3) 災害危険区域等の指定の有無(洪水氾濫によるもの。急傾斜地・土砂災害は除く)			
B あり	2		2
(4) 高齢化率(代表都市町村の65歳以上の人口構成比)			
A 40%以上	3	25.2%	1
B 40～30%以上	2		
C 30～20%以上	1		
評点合計			21

別紙1
河川改修事業

洪川	
数値	評点

過去の災害実績(過去10ヶ年の実績被害を対象にして)	評点	数値	評点
			6
(1) 浸水頻度			
A 4回以上	3	1	
B 3~2回	2		
C 2回未満	1		1
(2) 最大浸水戸数			
A 100戸以上	3	0	
B 99~30戸	2		
C 30戸未満	1		1
(3) 床上浸水の浸水戸数(最大)			
A 20戸以上	3	0	
B 19~5戸	2		
C 5戸未満	1		1
(4) 最大農地浸水面積			
A 100ha以上	3	0	
B 99~30ha	2		
C 30ha未満	1		1
(5) 避難勧告の有無			
B あり	2		
(6) 重要な公共施設等(1)の有無			
A 3施設以上	3	0	
B 2施設	2		
C 1施設以下	1		1
(7) 災害弱者関連施設(2)の有無			
B あり	2		
(8) 重要公共網の遮断状況(一つの公共機関で過去最大のもの)			
A 12時間以上	3		
B 6時間以上12時間未満	2		
C 6時間未満	1		1
事業の緊急度(過去近3ヶ年実績被害を対象にして)評点	評点		4
(1) 被害実績の有無			
B あり	2		2
(2) 水防活動回数(累計)			
A 2回以上	3		
B 1回	2		2
災害発生の危険度評点	評点		11
(1) 改修目標流量に対する現況流下能力の割合			
A 0.2未満	3		
B 0.2~0.5未満	2		2
C 0.5以上	1		
(2) 現況の治水安全度(生起確率の方で算出)			
A 5年未満	3	1/2未満	3
B 5~10年未満	2		
C 10年以上(補助河川・安全に流せる洪水規模の生起確率)	1		
A 30mm/h未満	3		3
B 30~50mm/h未満	2		
C 50mm/h以上(補助河川・安全に流せる降雨量)	1		
(3) 災害危険区域等の指定の有無(洪水氾濫によるもの。急傾斜地・土砂災害は除く)			
B あり	2		2
(4) 高齢化率(代表都市町村の65歳以上の人口構成比)			
A 40%以上	3		
B 40~30%以上	2		
C 30~20%以上	1	25.2%	1
評点合計	21		21